

あゆみ学園だより

2022年12月号

福岡市社会福祉事業団
福岡市立あゆみ学園

11月、コロナ禍で中止していた幼稚園との交流保育を、2年ぶりに再開できました。参加したのは、りすグループとぞうグループのお友達です。幼稚園の園庭では、年長さんが元気よく迎えてくれました。その元気な声に、ちょっと戸惑ったあゆみのお友達もいました。幼稚園のお友達は飼っているカメを紹介してくれたり、車いすを押してくれたり、滑り台の順番を交替してくれたり、一緒にブランコに乗ろうと誘ってくれたりしました。あゆみのお友達は、たくさんのお友達に囲まれて質問攻めにあい、ドキドキしたり、あゆみにはないダイナミックな遊具に挑戦したり、とても刺激になった時間でした。帰りに、幼稚園のお友達に「また来ると？」と聞かれました。今年度は後2回実施の予定です。短い時間と空間を共有しただけのような交流保育ですが、将来、ともに成長できる社会づくりへ繋がればと願わずにはいませんでした。

今年も瞬く間に過ぎていき、あっという間に最後の月になりました。

ご家族みなで、健やかな新年を迎えられますようお祈り申し上げます。

園長 加治木 ちさ子

行事予定

1	木	園長懇談（ひよこ）
15	木	避難訓練
16	金	学習会「防災」・月例保護者会 グループ懇談（りす）
23	金	親子最終日 グループ懇談・月例保護者会（ぞう）
26	月	単独最終日 ※通園開始 単独 1月6日（金） 親子 1月10日（火）



「スノーズレンとは？」

スノーズレンとは、誰もが楽しめるように、光や音、触覚などを組み合わせたリラクゼーションで、心地よく、くつろいで過ごす空間のことを表しています。

12月から1月にかけて、外ではイルミネーションがライトアップします。また、光グッズが店頭でも充実して販売される時期でもあります。

ご自宅でも、クリスマスツリーを飾ってライトアップしてみるなど、光の効果を利用して、お子さんと暖かい部屋で、ゆったりとくつろいで過ごせる時間をつくってみてはいかがでしょうか。

作業療法士 園田

「クリスマス会に向けて」

街も飾りやイルミネーションでクリスマスムードが漂ってきました。あゆみ学園でもクリスマス制作をしたり、歌を歌ったりしてクリスマスムードを盛り上げていきたいと思います。クリスマスに欠かせないツリーには「永遠の命」、リースには「いつまでも幸せにいられますように」という意味があるそうです。そして、メリークリスマスのメリーは「楽しい」の意味で、メリークリスマスは「楽しいクリスマスを！」という意味になるそうです。あゆみ学園のクリスマス会もツリーやリースを飾って、子ども達の笑顔あふれる温かくて幸せな会にしたいと思います。メリークリスマス♪

保育士 高地

